

物 件 調 書

物 件 番 号	1	所 在 地	高 島 市 新 旭 町 新 庄 字 前 川 原 4 8 7 番 1		
面 積	土地 実測 1,348.28㎡ 建物 延べ 523.06㎡ (計3筆) (渡り廊下面積除く)	地 種	目 別	宅 地 鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建 倉庫 鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板ぶき2階建 事務所 他 計6棟 (キュービクル除く)	
予 定 価 格 (最 低 売 却 価 格)			1 5 , 5 6 4 , 0 0 0 円		
接 面 道 路 の 状 況	西 側 県 道 高 島 大 津 線 幅 員 約 1 0 m				
法 令 等 に よ る 制 限	埋 蔵 文 化 財 包 蔵 地 外		用 途 地 域	非 線 引 都 市 計 画 区 域	
	建 ぺ い 率	7 0 %	容 積 率	2 0 0 %	
私 道 等 の 負 担 に 関 する 事 項	負 担 の 有 無	無			
供 給 処 理 施 設 状 況	区 分	利 用 可 能 な 施 設	配 管 等 の 状 況	事 業 所 名	
	電 気	関 西 電 力 (株)	既 存 建 物 に 接 続 済	電 話 番 号	
	ガ ス	—		関 西 電 力 (株) 滋 賀 営 業 所	
	上 水 道	市 営 水 道	既 存 建 物 に 接 続 済	0 8 0 0 - 7 7 7 - 8 0 6 1	
	下 水 道	公 共 下 水 道	既 存 建 物 に 接 続 済	高 島 市 土 木 上 下 水 道 部 上 下 水 道 課	
現 地 ま だ の	鉄 道	J R 湖 西 線 「 新 旭 駅 」 約 2 k m			
交 通 機 関	バ ス	「 新 庄 本 町 」 (江 若) 約 0 . 6 k m			
備 考					
<p>1 本 件 は、土 地 (非 課 税 財 産) お よ び 建 物 (課 税 財 産) を 一 括 で 売 払 い ます。</p> <p>2 当 施 設 は 平 成 2 4 年 6 月 に 特 定 施 設 を 廃 止 し て お り、分 析 の 結 果 土 壌 汚 染 は 確 認 で き ませ ん で し た。建 物 に お け る ア ス ベ ス ト 調 査 に つ い て は、吹 付 材 お よ び 空 気 中 に お い て 基 準 値 以 下 で し た。詳 し く は 分 析 等 資 料 を 確 認 し て 下 さ い。</p> <p>3 場 内 に 浄 化 槽 が 残 さ れ て い ます。(土 砂 投 入 済) 上 水 道 敷 地 内 配 管 は 隣 接 建 物 敷 地 よ り 引 き 込 ま れ て い る 為、利 用 の 際 に は 所 有 者 と 協 議 願 い ます。</p> <p>4 本 件 は、現 状 有 姿 で 譲 渡 す る こ と と し ます。所 有 権 移 転 後 に 土 壌 汚 染、地 盤 沈 下、地 下 埋 設 物 等 が 発 見 さ れ て も 県 は 責 任 を 負 い ませ ん。</p> <p>5 当 該 地 は 防 災 情 報 マ ッ プ に よ れ ば、1 0 0 年 確 率 に お い て ひ ざ ま で の 浸 水 が 発 生 す る 可 能 性 が あ り ます。詳 し く は 以 下 の URL を 必 ず ご 参 照 く だ さ い。 (http://shiga-bousai.jp/dmap/top/index)</p> <p>6 申 し 込 み に あ た っ て は、自 ら の 責 任 に お い て 現 地 お よ び 諸 規 制 を 確 認 し て く だ さ い。</p>					

東北部工業技術センター旧高島支所

高島市新旭町新庄地先 土地: 1,348.28㎡(約408坪)

建物 延床: 523.06㎡(渡り廊下除く)

最低売却価格 15,564,000円

(位置図)



<現況>

- 高島市新旭町新庄字前川原487番1
- 土地 1,348.28㎡(約408坪) ●建物 延床523.06㎡ 2棟および付属建物4棟
- 地目/宅地 ●用途/非線引き都市計画区域(建ぺい率70%・容積率200%)
- 設備/上下水道整備済み

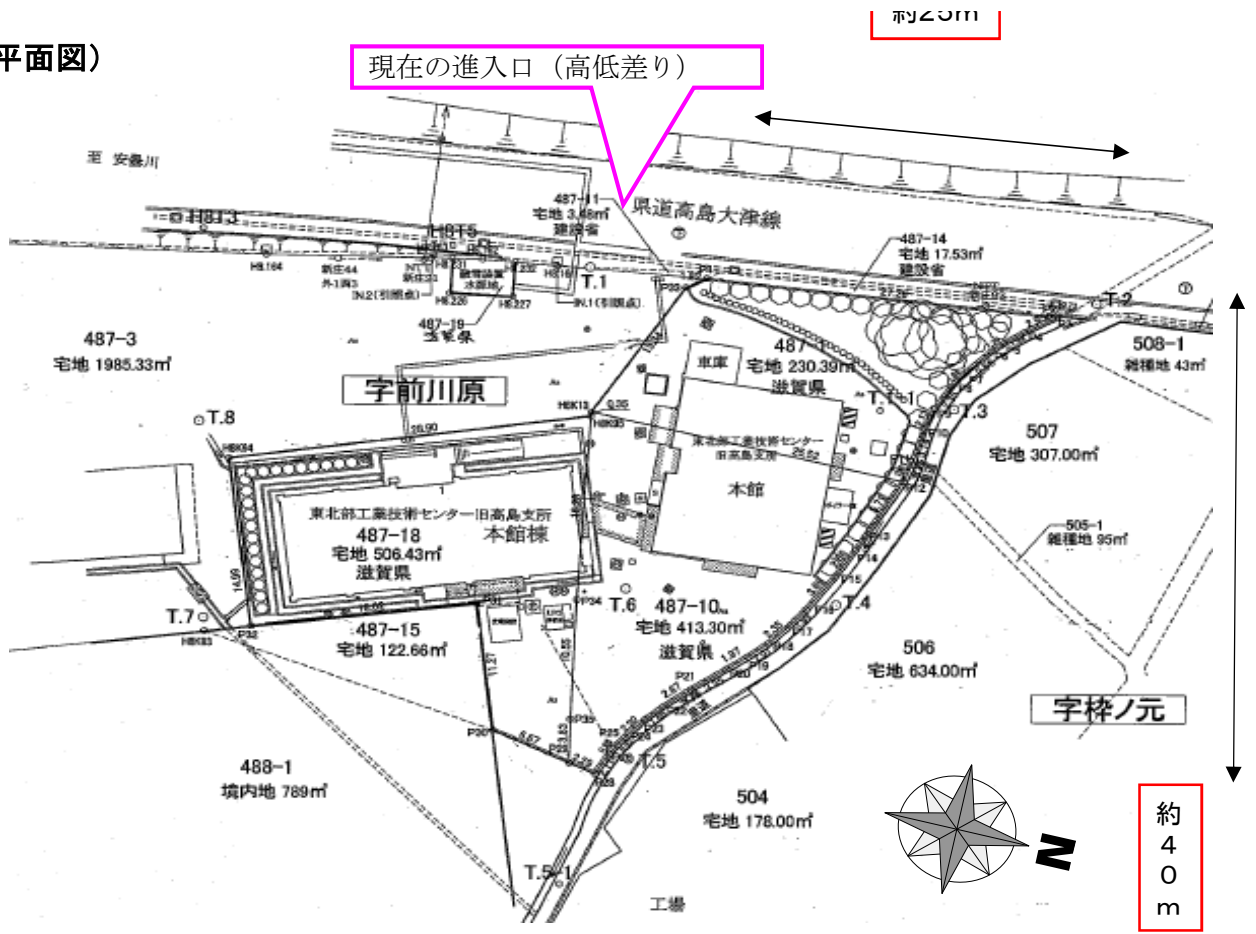
<特徴>

- ◆街路 西側 県道高島大津線 幅員約10m (敷地が低く、斜路を要する)
- ◆最寄駅へ JR湖西線「新旭」駅 北方 約2km 江若バス「新庄本町」 北方 約0.6km
- ◆土地の利用状況/
 - 昭和42年 当該地に移転、本館建築 昭和59年 本館棟建築
 - 平成19年 高島市に建物貸付(～24年3月末)
 - 平成24年 測量および地積更正登記 建物所有権保存登記
 - 平成25年 売却資産として管理



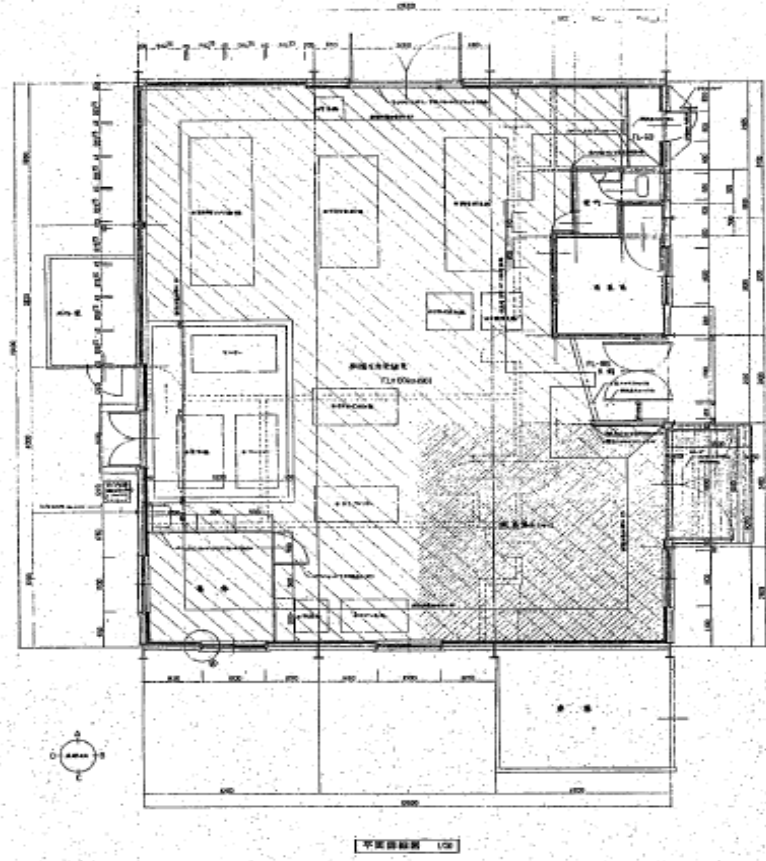
約25m

(平面図)



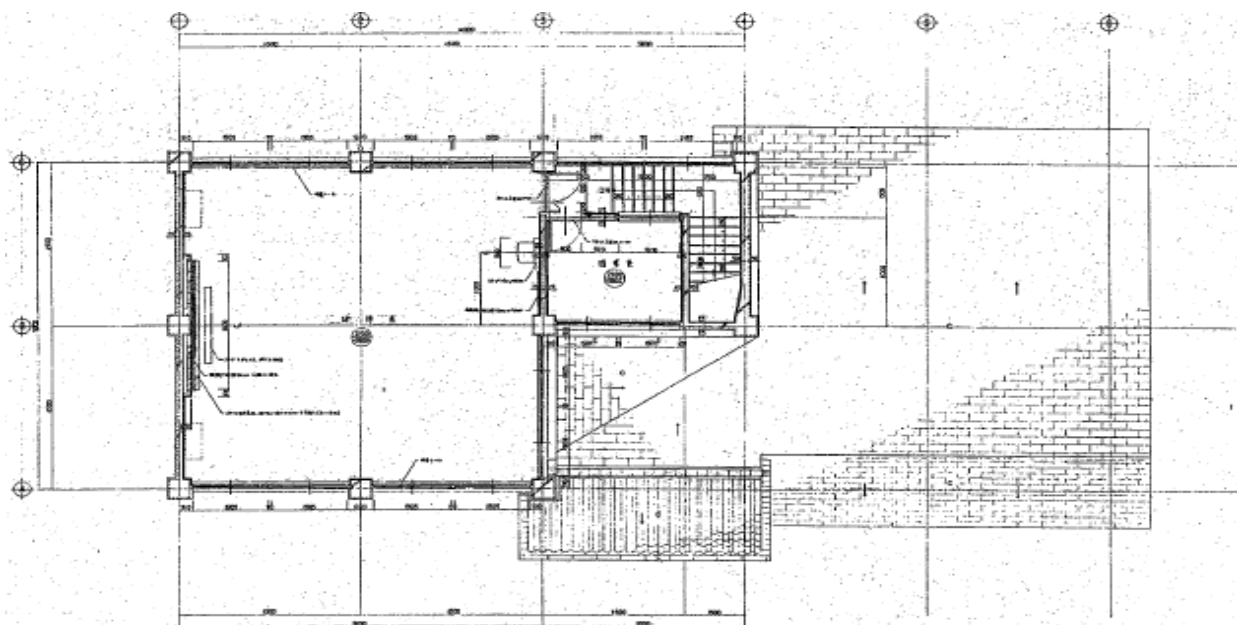
(建物図)

家屋番号487-10 本館 (北側の建物)

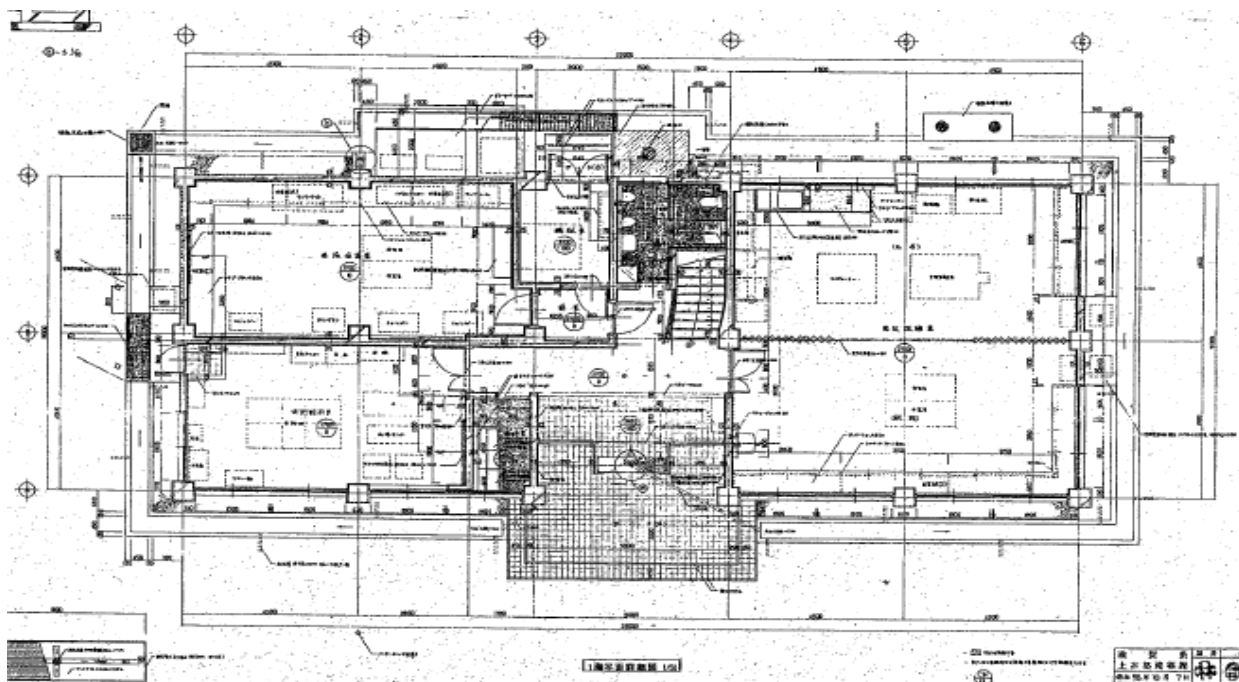


家屋番号487-18 本館棟（南側の2階建て建物）

2F



1F



(写真)



西から東を望む（表面全景）

右端は他者所有物件（今は入居者なし）



敷地進入口（他者所有地）より南を望む（高低差あり）



東から西を望む（裏面全景）

手前一番左はキュービクル、左から2番目はプロパンガス庫
奥左が本館棟、奥右が本館



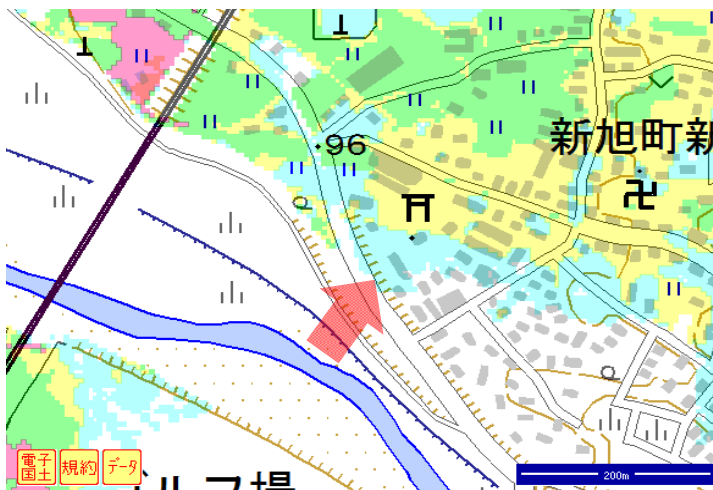
本館
繊維生産
実験室



本館棟 1F実験室



本館棟 2F研修室



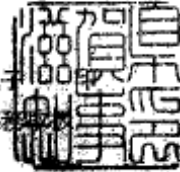
防災情報マップ浸水深図
 高島市100年確率 より
 ヒザ程度まで

土壤汚染状況調査結果報告書

平成24(2012年)年9月24日

滋賀県知事 嘉田 由紀子 殿
(高島環境事務所事務取扱)

報告者 滋賀県知事 嘉田 由紀子
(商工観光労働部新産業振興課事務取扱)



土壤汚染対策法第3条第1項本文の規定による調査を行ったので、同項の規定により、次のとおり報告します。

工場又は事業場の名称	滋賀県東北部工業技術センター旧高島支所
工場又は事業場の敷地であった土地の所在地	高島市新旭町新庄字前川原487-1,487-10,487-18
使用が廃止された有害物質使用特定施設	
施設の種類の	地方公共団体の試験研究機関に設置する洗浄施設(71の2)
施設の設置場所	別添報告書のとおり
廃止年月日	平成24年6月1日
土壤溶出量基準又は土壤含有量基準に適合していないおそれがある特定有害物質の種類	第一種特定有害物質 四塩化炭素 ジクロロメタン テトラクロロエチレン(別添分解物を含む) ベンゼン
	第二種特定有害物質 六価クロム 鉛及びその化合物
土壤汚染状況調査の結果	別添報告書のとおり
分析を行った計量法第107条の登録を受けた者の氏名又は名称	
土壤汚染状況調査を行った指定調査機関の氏名又は名称	
土壤汚染状況調査に従事した者を監督した技術管理者の氏名及び技術管理者証の交付番号	

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
2 氏名（法人にあっては、その代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができる。

3. 調査結果

調査の結果を下表に示す。

表-3 土壤ガス分析結果

調査項目	単位: volppm				
	A1-2	A1-3	A1-4	A1-5	定量下限値
四塩化炭素	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,2-ジクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1-ジクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1,2-ジクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,3-ジクロロプロパン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
ジクロロメタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1,1-トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1,2-トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
ベンゼン	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05

単位: volppm

調査項目	単位: volppm				
	A1-6	B1-1	B1-2	B1-3	定量下限値
四塩化炭素	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,2-ジクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1-ジクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1,2-ジクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,3-ジクロロプロパン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
ジクロロメタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1,1-トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1,2-トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
ベンゼン	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05

単位: volppm

調査項目	単位: volppm				
	B1-4	B2-7	B2-8	B2-9	定量下限値
四塩化炭素	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,2-ジクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1-ジクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1,2-ジクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,3-ジクロロプロパン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
ジクロロメタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1,1-トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
1,1,2-トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
トリクロロエタン	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1 未満	0.1
ベンゼン	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05 未満	0.05

表-4 土壤分析結果

調査項目	単位: (mg/L)				
	指定基準	A1-2	A1-3	A1-4	A1-5
六価クロム及びその化合物	0.05 以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
鉛及びその化合物	0.01 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満

調査項目	単位: (mg/L)				
	指定基準	A1-6	B1-1	B1-2	B1-3
六価クロム及びその化合物	0.05 以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
鉛及びその化合物	0.01 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満

調査項目	単位: (mg/L)				
	指定基準	B1-4	B2-7	B2-8	B2-9 上
六価クロム及びその化合物	0.05 以下	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満	0.02 未満
鉛及びその化合物	0.01 以下	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満	0.005 未満

調査項目	単位: (mg/L)	
	指定基準	B2-9 下
六価クロム及びその化合物	0.05 以下	0.02 未満
鉛及びその化合物	0.01 以下	0.005 未満

【土壤含有量調査】 単位: (mg/kg)

調査項目	単位: (mg/kg)		
	指定基準	A1-2	A1-3
六価クロム及びその化合物	250 以下	25 未満	25 未満
鉛及びその化合物	150 以下	15 未満	15 未満

調査項目	単位: (mg/kg)		
	指定基準	A1-6	B1-1
六価クロム及びその化合物	250 以下	25 未満	25 未満
鉛及びその化合物	150 以下	15 未満	15 未満

調査項目	単位: (mg/kg)				
	指定基準	B1-4	B2-7	B2-8	B2-9 上
六価クロム及びその化合物	250 以下	25 未満	25 未満	25 未満	25 未満
鉛及びその化合物	150 以下	15 未満	15 未満	15 未満	15 未満

調査項目	単位: (mg/kg)		
	指定基準	B2-9 下	B2-9 下
六価クロム及びその化合物	250 以下	25 未満	25 未満
鉛及びその化合物	150 以下	15 未満	15 未満

4. 総 評

本調査の結果、全ての調査対象物質について何れの区画においても土壤環境基準を超過しなかった。
以上の結果より当該地は、汚染状態に関する基準に対し適合する土地であるといえる。

試験成績書

発行番号 F051004-2
発行日 平成17年11月24日

滋賀県東北部工業技術センター

御中

試験成績書

発行番号 HHG0000936-001
発行日 平成20年8月11日

滋賀県東北部工業技術センター 様

貴依頼による試験の結果を次の通り報告します。

吹付け材

試験の对象	アスベスト濃度分析業務
採取年月日	平成17年10月4日 14:40
採取者氏名	
採取場所及び試料名	高島支所 機検査
試験の方法	位相差顕微鏡法(分散染色法)及び線回折法による分析 (基準第188号「建築物の耐火等吹付け材の石綿含有率の判定方法」に準ずる。)

1. 試料情報

業務名称 : アスベスト濃度分析業務
 試料採取場所 : 高島支所
 試料名 : 機検査 天井 吹付け材
 採取日 : 平成20年7月19日
 採取者 :
 試験方法 : 位相差顕微鏡法(分散染色法)及び線回折法による分析
 (JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準ずる。)

2. 試験結果

アスベストの種類	定性試験結果	定量試験結果(%)	備考
クリソタイル	不検出	—	
アモサイト	不検出	—	
クロシドライト	不検出	—	
アンソナイト	不検出	—	
トモライト /アクトナライト	不検出	—	

定量下限:0.1%

貴依頼による試験の結果を次の通り報告します。

アスベスト定性・定量試験結果(※)

アスベストの種類	定性試験結果	定量試験結果(W/W%)
クリソタイル	不検出	—
アモサイト	不検出	—
クロシドライト	不検出	—

*不検出のため、定量分析は行わなかった。 定量下限値:0.5W/W%